



令和3年3月12日

株式会社 中国銀行

学校法人山陽学園 山陽学園中学校・高等学校

## SDGs パートナーシップ 協定の締結について

当行と学校法人山陽学園 山陽学園中学校・高等学校（岡山県岡山市中区門田屋敷2丁目2番16号 校長 豊岡 秀明、以下 山陽学園という）は、山陽学園中学校・高等学校地歴部(部長 林 李子)を Witness 立会人として、SDGs パートナーシップ協定を締結します。

本取組みは以下の通り全国でも珍しい、先進的な取組事例となります。

内容	状況
SDGs 達成を目的とした銀行と中学校・高等学校の連携協定	日本初
生徒が署名に参加する連携協定	日本初
銀行と中学校・高等学校の連携協定	中国地方初
当行の中学校・高等学校の連携協定	当行初

※いずれも当行によるインターネット調べ。

### 1. 協定内容骨子

	項目	内容	
(1)	理念・目的	持続可能な開発目標 SDGs 達成や次世代に希望溢れる未来を届ける	
(2)	具体的な連携内容	(1) 概念・基本	瀬戸内海のマイクロ・プラスチック・フリー化に取り組む。
		(2) 瀬戸内海 の海ゴミ問題 解決	①当行が創立 90 周年記念事業「瀬戸内海の島と海ゴミ問題を通じた環境保全活動」に取り組むにあたり、協働作業として、手島(丸亀市)で山陽学園地歴部が継続実施中の海ゴミ回収活動に、当行役職員が同行し、海ゴミ回収活動を実施する。これにより、役職員に海ゴミ問題(SDGs の課題)への理解を深め、その経験を各種問題解決に活かす。 ②本活動の意義を、当行お取引先企業等に広める。

	※お取引先等参加のお誘い	瀬戸内海の家ゴミ問題解決へ興味のある当行お取引先企業、官庁、地方公共団体等へ勧誘をおこない、ともに活動をおこなうことで、海ゴミ問題解決を考えていただくきっかけとしていただきます。
	(3)質の高い教育をみんなに	<ul style="list-style-type: none"> <li>山陽学園生徒さんの SDGs 活動への協力(銀行ノウハウの提供、問題解決ノウハウを持つお取引先紹介など)</li> <li>キャリア教育協力、その他の教育支援。</li> </ul>

## 2.協定の締結のきっかけ

当行職員の山陽学園地歴部の海ゴミ回収活動への参加をきっかけに、行内にて海ゴミ回収活動への参加を要望する声が広がり、当行創立 90 周年記念事業として「瀬戸内海の島と海ゴミ問題を通じた環境保全活動」に取り組むこと、および協定締結に至ったものです。

## 3.調印式

本協定は、当行創立 90 周年記念事業として当行全体で取り組むこと、また活動の主体が山陽学園地歴部の生徒達であることから、山陽学園地歴部の生徒達を含めた調印式を実施します。

	項目	内容
(1)	調印式 日程	3月12日(金) 12:55~13:40 ※山陽学園のお昼休み12:55~13:40に実施します。授業の関係上、十分な質疑応答等の時間が取れないと予想されますので、生徒へのインタビューの希望がある場合は、事前に山陽学園連絡先に個別に連絡いただきますようお願いいたします。
(2)	場所	学校法人山陽学園 山陽学園中学校・高等学校、校舎1階アトリウム (岡山県岡山市中区門田屋敷2丁目2番16号)
(3)	署名者	山陽学園
		校長 豊岡 秀明(とよおか ひであき)
	地歴部	部長 林 李子(はやし もも:高校2年生) ※山陽学園全体の契約内容履行義務・責任は負わない Witness : 立会人として署名に参加。
	当行	取締役頭取 加藤 貞則(かとう さだのり)

以 上